

2020 年度エコマーク事業収支決算報告

公益財団法人日本環境協会
エコマーク事務局

2020 年度のエコマーク事業に関する収支決算を以下のとおり報告します（次頁に概要説明）。

2020 年度エコマーク事業収支決算報告書
(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで)

(単位:千円)

科目	2020 年度 予算額 A	2020 年度 決算額 B	差異 B-A	(参考) 2021 年度 予算額	(参考) 2019 年度 決算額
I. 収入の部	千円	千円	千円	千円	千円
1. エコマーク事業収入	245,000	228,574	△16,426	220,000	251,836
収入合計	245,000	228,574	△16,426	220,000	251,836
II. 支出の部					
1. エコマーク事業費	44,000	35,750	△8,250	66,500	36,345
認定事業費	16,990	25,253	8,263	41,230	14,663
広報活動費	17,650	7,332	△10,318	14,800	15,093
調査研究費	5,060	2,180	△2,880	7,170	3,700
国際協力費	4,300	985	△3,315	3,300	2,889
2. 管理費	180,936	145,030	△35,906	162,645	157,715
人件費	100,632	90,845	△9,787	95,705	94,224
事務費(賃借料等の協会共通経費含む)	80,304	54,185	△26,119	66,940	63,490
支出合計	224,936	180,780	△44,156	229,145	194,060
収支差額(収入－支出)	20,064	47,794	27,730	△9,145	57,776

1. 2020年度エコマーク事業計画・予算の背景と概況

2020年度の予算は、編成当時にコロナ禍による収入への影響を織り込めていなかったが、2020年3月末に認定基準の有効期限を迎える認定商品（繊維製品を中心に約1,500商品）のうち、再審査を受けず新基準に移行しない商品の減収が見込まれたため、2019年度予算比7,000千円減の245,000千円を計上していた。

事業概況については、新規の申込数（2020年3月～2021年2月）が前年同期と比較して減少したものの、再審査を除く純粋な新規申込が前年度と同水準の250件となるなど底堅さも見られた。しかし、7～12月頃にかけて新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものとみられる使用料収入の減少傾向が顕著に現れた。一方、支出においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって事業活動の大幅な縮小を余儀なくされ、旅費やイベントなど出展費用の執行停止が相次いだ。このため、最終的な収支差額は47,794千円となり、予算を27,730千円上回った。

2. 収入

1) エコマーク事業収入

2020年度のエコマーク事業収入は使用料および審査料収入合計で228,574千円（対予算16,426千円の減収）であった。

3. 支出

1) エコマーク事業費

2020年度のエコマーク事業費は35,750千円で、予算に対して8,250千円下回った。

費目別の支出概況

(1) 認定事業費（基準策定委員会運営費、システム保守・管理費など）

- ・認定事業費の支出は対前年10,590千円増で、予算に対して8,263千円上回った。これは、電子申請などのシステム開発に向けた検討（要件定義）について次年度から開始する計画であったが、時期を早めて着手したため、システム保守・管理費、諸経費などが当初予算を上回ったことによる。

(2) 広報活動費（ATC展示運営費、ウェブサイト管理費、各種イベント・フェア参加費、表彰・講演会費など）

- ・ 広報活動費の支出は対前年 7,761 千円減で、予算に対して 10,318 千円下回った。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年 9 小間を出展していたエコプロ 2020 がオンライン開催になるなど、展示会・説明会関連の諸費用、それに付随する印刷費、旅費などで事業が停止し、当初予算を下回ったことによる。

(3) 調査研究費（信頼性確保費（現地監査、基準適合試験など）、新規類型選定調査費、ISO 審査員登録費など）

- ・ 調査研究費の支出は対前年 1,520 千円減で、予算に対して 2,880 千円下回った。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため現地訪問方式からリモート方式に切り替えたことにより適正使用周知・監査費が減少したこと、環境情報提供強化調査費が当初予算を下回ったことによる。

(4) 国際協力費（GEN 関連費、海外ラベル協力活動費、資料英訳費）

- ・ 国際協力費の支出は対前年 1,904 千円減で、予算に対して 3,315 千円下回った。これは、海外ラベル等協力活動費において GEN 年次総会や相互認証協議などで予定していた海外渡航旅費がコロナ禍の渡航制限により執行できなかったほか、資料英訳費などが当初予算を下回ったことによる。

2) 支出合計

エコマーク事業費に管理費を含めた支出合計は、180,780 千円で、予算に対して 44,156 千円下回った。

4. 収支差額など

2020 年度のエコマーク事業に関する収支差額は、47,794 千円で、予算に対して 27,730 千円上回った。

本収支差額は当協会へ繰入れた。

以上

参 考

2019年度のエコマーク事業に関する収支決算を以下のとおり報告します。

2019年度エコマーク事業収支決算報告書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	H31 予算額 A	H31 決算額 B	差異 B-A	(参考) R2 予算額	(参考) H30 決算額
I. 収入の部	千円	千円	千円	千円	千円
1. エコマーク事業収入	252,000	251,836	△164	245,000	255,295
収入合計	252,000	251,836	△164	245,000	255,295
II. 支出の部					
1. エコマーク事業費	52,000	36,345	△15,655	44,000	40,477
認定事業費	23,200	14,663	△8,537	16,990	18,249
普及啓発費	18,500	15,093	△3,407	17,650	14,550
調査研究費	5,500	3,700	△1,800	5,060	4,554
国際協力費	4,800	2,889	△1,911	4,300	3,124
2. 管理費	180,413	157,715	△22,698	180,936	171,648
人件費	94,827	94,224	△603	100,632	93,129
事務費(賃借料等の協会共通経費含む)	85,586	63,490	△22,096	80,304	78,519
支出合計	232,413	194,060	△38,353	224,936	212,125
収支差額(収入－支出)	19,587	57,776	△38,189	20,064	43,170

(運営委 45-1 より抜粋)